

平成23年3月31日

各学（校）長 様

福島県教育委員会教育長
(公 印 省 略)

平成23年度福島県奨学生募集について（通知）

本県の奨学資金貸与事業の振興につきましては、平素から御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成23年度福島県奨学生を別紙「募集の案内」により募集いたします。

つきましては、本県出身の貴校学生に対し周知いただくとともに、貸与希望者がおりましたら、下記により御推薦くださるようお願いいたします。

なお、他の奨学金との併願は可能ですが、併用はできませんので、その旨御指導願います。

記

- 1 推薦方法 別添「推薦事務の手引き」により奨学資金希望者の提出書類を取りまとめ、別紙「福島県奨学生推薦者一覧」を添付の上、提出願います。
- 2 提出期限 平成23年6月30日（木）（必着）
- 3 提出先・問い合わせ先
〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16
福島県教育庁学習指導課 奨学資金担当
電話 024-521-7775
FAX 024-521-7968

4 その他

- ① 「募集の案内」及び「願書」等が不足する場合は、コピーにより対応をお願いいたします。
- ② 「募集の案内」表紙に学校用の締切日記入欄を設けましたので、各学校における締切日を記入のうえ、希望者にお渡しください。
- ③ 所得証明書は、平成23年度（平成22年度分）となりますので、確認のうえ、提出願います。

なお、市区町村発行の「所得証明書」が提出期限までに間に合わない場合は、その旨記載のうえ、後日郵送としてください。



(事務担当 学習指導課 電話024-521-7775)

平成23年度 福島県奨学生推薦者一覧

学 校 名		担 当 課 係 名	
電 話 番 号		担 当 者 名	
所 在 地	〒		

氏 名	提 出 書 類 チェック										併 願
	願 書	推 薦 調 書	成 績 証 明 書	所 得 証 明 書	住 民 票 本	保 証 人 票 本	口 申 出 書	特 別 事 情 経 費 内 訳	そ の 他	併 願	
	※裏面3名とも印鑑が別であるかを確認してください。	※職印もれ、学校名の記入もれを確認してください。	※2年生以上は大学の成績証明書も添付。	※平成23年度(22年分)確認。22年度のもの不可。	※抄本は不可(ホチキスは外さないこと)。	※本籍記載がないものは不可。	※金融機関印の確認。 ※現住所確認。		※居住証明書等(住民票を移さない場合)		
1										貸与・給付	
2										貸与・給付	
3										貸与・給付	
4										貸与・給付	
5										貸与・給付	
6										貸与・給付	
7										貸与・給付	
8										貸与・給付	
9										貸与・給付	
10										貸与・給付	
11										貸与・給付	
12										貸与・給付	
13										貸与・給付	
14										貸与・給付	
15										貸与・給付	

※ 提出書類について○をつけてください。(今回提出できないものについては、「後日」と記載すること)
併願欄については、併願する場合に○をつけてください。

チェック票 (大学)

※ 各学校において、提出された申請書類のチェック用としてご使用ください。

○ 願書

	★ 記入漏れはないですか？	はい・いいえ
	★ 訂正箇所がある場合、二重線と訂正印が押印されていますか？	はい・いいえ
本人本籍欄	★ 住民票謄本の記載通りですか？	はい・いいえ
本人現住所欄	・ 自宅通学の場合……………★住民票謄本の記載通りですか？	はい・いいえ
	・ 自宅外通学で住民票を移している場合……………★住民票謄本の記載通りですか？	はい・いいえ
	・ 自宅外通学で住民票を移していない場合……………★居住証明書の記載通りですか？	はい・いいえ
家族の状況欄	★ 住民票謄本の記載通りですか？	はい・いいえ
	★ 無職の場合、「22年度または23年度途中で退職したものではない」ですか？	はい・いいえ
連帯保証人欄	★ 父親か母親、または親権者ですか？	はい・いいえ
	★ 現住所は福島県内ですか？	はい・いいえ
保証人欄	★ 年齢は65歳以下ですか？	はい・いいえ
	★ 現住所は、連帯保証人及び申請者本人とは別ですか？	はい・いいえ
参考事項	★ 収入=支出になっていますか？	はい・いいえ
誓約欄	★ 日付は記入されていますか？	はい・いいえ
	★ 3名とも自筆ですか？	はい・いいえ
	★ 印鑑は3名とも別のものですか？	はい・いいえ

○ 推薦調書

	★ 記入漏れはないですか？	はい・いいえ
	★ 成績は平均評定3.0以上ですか？	はい・いいえ
	★ 日付、学校名、学(校)長名の記載、職印の押印はされていますか？	はい・いいえ

○ 成績証明書

	・ 1年生で申請する場合……………★高校2年3年次の成績の平均評定は3.0以上ですか？	はい・いいえ	
	・ 2年生以上で申請する場合	★高校2年3年次の成績の平均評定は3.0以上ですか？	はい・いいえ
		★大学の成績証明書は添付されていますか？	はい・いいえ

○ 所得証明書

	★ 平成23年度(平成22年分)のものですか？	はい・いいえ
	★ 願書の家族の状況欄に記載されている就学者以外、全員分ありますか？	はい・いいえ
	★ 年金受給者で雑所得のある方の確定申告書(写し)はありますか？	はい・いいえ
	★ 算定をした金額は規定する所得金額以下ですか？	はい・いいえ

○ 住民票謄本

	★ 本籍は記載されていますか？	はい・いいえ
	★ ホチキスで留められている場合……………ホチキスは外されていませんか？	はい・いいえ
	★ 住民票を移している場合でも同一生計者全員分の住民票謄本がありますか？	はい・いいえ
	・ 自宅外通学で住民票を移している場合……………★申請者本人の住民票謄本もありますか？	はい・いいえ
	・ 自宅外通学で住民票を移していない場合……………★居住証明書がありますか？	はい・いいえ

○ 保証人の住民票抄本

	★ 本籍は記載されていますか？	はい・いいえ
--	-----------------	--------

○ 口座振替による支払申出書

	★ 金融機関の確認印はありますか？	はい・いいえ
	★ 住所欄には現在居住している住所が(住民票または居住証明書通り)記載されていますか？	はい・いいえ
	★ 「〇〇番地」、「〇番地の〇」等、記載の誤りはないですか？	はい・いいえ
	★ 口座番号、記号は記載されていますか？	はい・いいえ
	★ 口座名義人(カナ記入)は申請者本人の名前ですか？	はい・いいえ
	★ 右下の日付、署名、押印欄に記入はありますか？	はい・いいえ

※ すべての項目に「はい」がつかない場合は申請書類提出前に御連絡ください。

福島県奨学資金

大学・短期大学・高等専門学校

本県奨学資金は、福島県出身の生徒又は学生であって、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難と認められる者に対して奨学資金を貸与し、もって教育の機会均等をはかり、健全な社会の発展に資することを目的としております。

- 1 募集人員** [大学・短期大学] 120名程度（国公立20名程度／私立100名程度）
[高等専門学校] 5名程度
- 2 貸与月額** [大学生・短大生] 月額 国公立 35,000円／私立 40,000円
[高等専門学校生] 月額 18,000円
- 3 貸与期間** 平成23年4月分から在学する学校の正規の修業期間
- 4 申込の方法** 在学する大学・学校を通して行います。
① 申請に必要な書類を学校へ提出 _____ 月 _____ 日まで
↓
② 学校の推薦を得て申請へ
↓
③ 学校より申請書類を福島県へ 平成23年6月30日(木) [必着]
- 5 採用の決定** 提出された書類により、選考作業を行い、奨学生として決定します。
採否については、大学・学校を通して本人に8月頃に通知します。
採用された場合、誓約書の提出後、4月分まで遡り貸与開始となります。
- 6 返還の方法**
【返還の期間・方法】 卒業の月の6ヶ月後から貸与を受けた奨学資金の総額に応じ20年以内に全額を半年賦（年2回）で返還していただきます。福島県より納入通知書を発行・送付しますので、金融機関の窓口より納入していただくようになります（返還額の例については最終ページ）。
【利子及び延滞利息】 利子は、無利子となります。
ただし、返還すべき日までに返還されない場合は、年10%の延滞利息が発生します。また、期限を経過しても返還に応じていただけない場合は、連帯保証人及び保証人に請求するとともに、法的手段を講じる場合もあります。

<応募資格>

1 各区分に応じ、次に掲げる条件を具備していること。

[大学生・短大生の場合]

- ① 県内の高等学校を卒業した者、若しくは高等学校卒業程度認定試験若しくは大学入学資格検定に合格した者。(合格当時県内に住所を有していた場合に限る。)・・・入学又は入学する目的をもって住所を移転するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有しており、保護者が県内に居住していること。
- ② 県外の高等学校を卒業した者・・・卒業の月に福島県奨学資金を受けており、引き続き保護者が県内に居住していること。

[高等専門学校生の場合]

- ① 県内に所在する学校に在学する者・・・県内に引き続き6ヶ月以上住所を有しており保護者が県内に居住していること。
- ② 県外に所在する学校に在学する者・・・入学又は転学するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有しており、かつ、保護者が県内に居住していること。

2 在学大学・学校より推薦を受けるには、次に掲げるすべての基準を満たしていることが必要です。

【学 力】

[大学生・短大生の場合]

高等学校における最終2カ年の全履修科目の評定を合計し、これを全履修科目数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに大学における学業成績が本人の属する学部(科)の平均水準以上であること。

[高等専門学校生の場合]

中学校における最終2カ年の全履修教科の評定を合計し、これを全履修教科数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに高等専門学校における学業成績が本人の属する学科の平均水準以上であること。

【所 得】

本人の生計を主として維持する者の1年間の総収入金額から必要経費及び特別控除額を差し引いた所得金額が、規定する所得基準額以下であること。

(詳細は、別紙「所得金額の求め方」をご覧ください。)



<注意事項>

1 応募資格の条件を満たし、大学・学校からの推薦を受けて応募いただくようになります。

2 同種類(貸与)の修学資金を他から受けていないこと。

※ 他団体の奨学資金との併願のみ可能。併用は不可。

なお、本県奨学生に採用後に併用が発覚した場合は、奨学生決定当初に遡及して奨学生を取り消します。

<必要書類>

1. 福島県奨学生願書（第1号様式）

- ① 記載にあたっては「記載例」及び「願書裏面の注意事項」をよく読み、読みやすい字で記入してください。
- ② 本籍及び現住所は番地まで正確に記入してください。
- ③ 申請者の住所は現在居住している住所を記入してください。
- ④ 保証人は2人立てていただきます。
※ 連帯保証人については、県内に居住する親権者等です。
保証人については、成年者であり、本人及び連帯保証人と別生計（別居）で、独立の生計を営み、奨学資金の返還の責めを負うことができる程度の資力を有した方で、やむを得ない場合を除き65才以下の方にしてください。
- ⑤ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、その上に押印してから余白に記入してください。（修正ペン、修正テープの使用不可）

2. 福島県奨学生推薦調書（第2号様式） ※在学している大学・学校で記載

※ 2年生以上の者が申請する場合、出身高等学校の成績及び在学学校の成績が必要です。

3. 出身学校の成績証明書 ※高等専門学校生は必要ありません。

出身高等学校より成績証明書（調査書不可）を取り寄せてください。

4. 平成23年度（平成22年分）所得証明書（就学者以外の世帯全員のもの）

※ 源泉徴収票は不可。

- ① 無職、年金受給者の方も提出してください。
- ② 平成22年の中途又は平成23年中に退職、転職（開業・転業・勤務先変更も含む）等がある場合は、他に書類を提出していただく場合がありますので、お問い合わせください。
- ③ 市町村の発行開始時期が提出期限に間に合わない場合は、後日送付も可能ですので、在学大学・学校へご連絡ください。
※ 平成23年度の発行開始時期は市町村によって異なりますので、各市役所・役場へお問い合わせください。

5. 住民票謄本（本籍記載の世帯全員分）

- ① 同一生計の方全員分です。別居している方も提出してください。
- ② 戸籍謄本は不可です。
- ③ 申請者本人が住民票と異なる住所に居住している場合は必ず「在寮証明書」又は「居住証明書」※（様式は学校から取り寄せてください）を提出してください。
※ 居住先の管理者に居住の証明書を発行してもらうようになります。

6. 保証人にかかる住民票抄本（本籍記載のもの）

戸籍抄本は不可です。

7. 口座振替による支払申出書

- ① 奨学資金申込者本人名義となります。
- ② 金融機関（ゆうちょ銀行も可）で金融機関名、口座番号等の確認を受けてください。
- ③ 自宅外の場合は本人の現住所を記入してください。
- ④ 用紙右下の署名・捺印を忘れずに行ってください。

8. 特別の事情にかかる経費内訳及びそれを証明する書類<特別控除に該当する場合のみ>

- ① 用紙の該当項目に該当する場合は、証明書類を添付し、提出してください。
- ② 証明書類がない場合は、控除の対象になりませんので、ご注意ください。

返還について

奨学資金は貸付金です。貸与が終了すると、奨学生本人に返還義務が生じます。返還金は後輩奨学生の奨学資金として直ちに活用される重要なものです。

福島県奨学資金の申請にあたっては、申請者及び連帯保証人並びに保証人において、卒業後の返還義務を十分にご理解のうえ、申請されますようお願いいたします。

なお、返還の目安については、下表をご参照ください。

返還額の例

		貸与年	貸与月額	貸与月数	貸与総額	半年賦額	回数	年数
大学	国公立	4	35,000円	48月	1,680,000円	60,000円	28回	14年
	私立	4	40,000円	48月	1,920,000円	64,000円	30回	15年
短期 大学	国公立	2	35,000円	24月	840,000円	42,000円	20回	10年
	私立	2	40,000円	24月	960,000円	48,000円	20回	10年
高等専門学校		5	18,000円	60月	1,080,000円	49,000円	22回	11年

※ 端数は初回返還金で調整されます。

問い合わせ先

在学する大学・学校もしくは次まで

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16
福島県教育庁学習指導課
Tel:024-521-7775(直通) Fax:024-521-7968
ホームページアドレス <http://www.pref.fks.ed.jp/>

所得金額の求め方

家計支持者一人の所得金額（給与その他の収入などの1年間の総収入額から必要経費、特別控除を差し引いた金額）が表2（所得基準額表）の基準額以下であること。

給与所得者 5人家族（父・母・大学生・高校生・祖母）の例

			収入金額	控除額（表3）
父	会社員	給与収入	8,500千円	
母	パート従業員	給与収入	950千円	
本人	私立大学	自宅外通学		1,440千円
弟	県立高等学校	自宅通学		280千円
祖母	無職	年金収入	520千円	860千円

父が家計支持者であるので、

所得証明書の「給与収入金額」
もしくは「給与支払金額」

身体障がい者控除額

- ① 給与所得の計算式（裏面表1）から

$$8,500千円 \times 0.7 - 2,226千円 = 3,724千円$$

- ② 特別控除額表（裏面表3）から（控除を差し引く）

$$3,724千円 - (1,440 + 280 + 860) = 1,144千円$$

※その他の所得（営業所得、不動産所得等）があれば上記の所得金額に加算されます。

- ③ 所得基準額表（裏面表2）により 5人世帯4,280千円以下ということで申請可能となります。

給与所得者以外（自営業・農業等） 3人家族（父・本人・妹）の例

			収入金額	控除額（表3）
父	会社員	営業所得	3,300千円	490千円
本人	国公立大学	自宅外通学		1,020千円
妹	私立高等学校	自宅通学		410千円

- ① 給与所得の計算式（裏面表1）は当てはめない。

所得証明書の「営業所得」もしくは「農業所得」、「不動産所得」等の合計金額

父子家庭控除額

- ② 特別控除額表（裏面表3）から（控除を差し引く）

$$3,300千円 - (490 + 1,020 + 410) = 1,380千円$$

- ③ 所得基準額表（裏面表2）により 3人世帯3,620千円以下ということで申請可能となります。

表1 給与所得の計算式

収入金額3,290千円以下のもの.....	所得金額=0円
収入金額3,290千円を超え4,000千円までのもの.....	収入金額×0.8-2,626千円=所得金額
収入金額4,000千円を超え8,780千円までのもの.....	収入金額×0.7-2,226千円=所得金額
収入金額8,780千円を超えるもの.....	収入金額-4,860千円=所得金額

表2 所得基準額表 (世帯人員別所得基準額)

世帯人員	基準額	世帯人員	基準額
1人	1,860,000円	5人	4,280,000円
2人	3,100,000円	6人	4,520,000円
3人	3,620,000円	7人	4,750,000円
4人	3,950,000円	8人	4,980,000円

※ 世帯人員が8人を超える場合は、1人増すごとに230,000円を世帯人員8人の所得基準額に加算する。

表3 特別控除額表

特別の事情		特別控除額				証明書	
1	母(父)子家庭	490,000円				不要	
2	就学者のいる世帯 (1人につき)	区分	通学形態	国公立	私立		
		小学校児童		80,000円			
		中学校生徒		160,000円			
		高等学校生徒	自宅通学	280,000円	410,000円		
			自宅外通学	470,000円	600,000円		
		高等専門学校 学生	自宅通学	360,000円	600,000円		
			自宅外通学	550,000円	800,000円		
		専修学校高等 課程生徒	自宅通学	170,000円	370,000円		
			自宅外通学	270,000円	460,000円		
		専修学校専門 課程学生	自宅通学	220,000円	720,000円		
自宅外通学	620,000円		1,120,000円				
3	身体障がい者のいる世帯	大学学生	自宅通学	590,000円	1,010,000円		
		自宅外通学	1,020,000円	1,440,000円			
4	長期療養者のいる世帯	1人につき860,000円とする。				要	
5	家計支持者が別居している世帯	それぞれの事情により経済的に特別の支出をした金額。					
6	火災・風水害・盗難などの被害を受けた世帯	別居のため特別に支出した金額。 ただし、710,000円を限度とする。					
7	家計支持者が父母以外の世帯	日常生活を営むために必要な資材又は生活費をうるための基本的な生活手段(田・畑・店舗等)に被害があつて将来長期にわたって減収または支出増になると認められる年間金額。					
		410,000円。					

備考 ① 「就学者のいる世帯」による控除は、申込者本人を含みます。

② 現時点(申請時点)において特別の事情に該当する項目について控除されます。

③ 3の身体障がい者控除と4の長期療養者の控除は重複できません。

第1号様式 (第1条関係)

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受付番 番 号									
		※決定番 番 号		高・大 第 号							
		ふりがな								性別	
		氏 名									
生年月日		年 月 日 (満 歳)									
在 学 学 校	立		本 籍								
	部 科 学 年		現 住 所								
	部 制		電 ()								
同上の 所在地		電 ()		希 望 事 項		貸与月額		円			
						貸与期間		年 月 から 年 月 まで			
家 族 の 状 況	氏 名 <small>(生計維持者と別居している者にはX印をつけること。)</small>	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 学 先	疾病の 有 無	収入(税込) 金 額 千円	所得(税込) 金 額 千円	※		
	1	本人									
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	計 名										
連 帯 保 証 人	ふりがな					保 証 人	ふりがな				
	氏 名						氏 名				
	生年月日	年 月 日 (満 歳)					生年月日	年 月 日 (満 歳)			
	本人との 続 柄		年間収入 (税込)	千円			本人との 続 柄		年間収入 (税込)	千円	
	本 籍						本 籍				
	現 住 所	電 ()					現 住 所	電 ()			

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

参 考 事 項	奨学金を希望する理由				
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有	修学のための資金の名称		資金の種類
					貸与 ・ 給付
		無			貸与 ・ 給付
					貸与 ・ 給付
	本人の履歴	年 月 日	履 歴		
		年 月 日	立 中学校入学		
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
1カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円	
	アルバイト等から	円	交 通 費	円	
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円	
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円	
			そ の 他	円	
	計	円	計	円	

以上の記載事項に相違ありません。
 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。

上記のとおり保証人と連署して誓約します。

年 月 日
 福島県教育委員会教育長

申請者 (自筆) ㊟
 連帯保証人 (自筆) ㊟
 保証人 (自筆) ㊟

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

第1号様式(第1条関係)

※受付番号 ※決定番号 ふりがな		高・大 たくら		本籍、現住所は住民票の記載通り、番地、部屋番号まで正確に記入してください。なお、電話番号は必ず記入してください。	
福 島 県 奨 学 生 願 書		氏 名 福 島 太 郎		「貸与金額」は各区分に応じ、該当する金額を記入してください。 ア 国公立大学 35,000円 イ 私立大学 40,000円 ウ 高等専門学校 18,000円	
在 学 校 私立 〇〇〇 大学		生年月日 平成 〇 年 〇 月 〇 日 (満)		貸与期間 平成23年 4月から 平成27年 3月まで	
〇〇部 〇〇科 1 学年 制		本 籍 (申請者本人の本籍を記載)		※ 貸与月額 40,000円	
〇〇〇(〇〇)〇〇〇 (大学等の所在地を記入)		現住所 (住民票の異動の有無にかかわらず申請者本人の現住所・電話番号を記入)		希望事項 貸与期間 平成23年 4月から 平成27年 3月まで	
氏 名 福島 太郎		年齢 18		収入(税込) 金額 千円	
続柄 本人		職業 大学1年		所得(税込) 金額 千円	
父		学 業 会社員		疾病の有無	
母		年 齢 43		無	
姉		勤 務 先 〇〇〇〇		無	
弟		在 学 私立〇〇大学		無	
祖母		又 学 〇〇〇〇		無	
〇〇		無 職		無	
〇〇		高 校 2 年		有	
〇〇		無 職		無	
計 6 名		年 間 収 入 (税込)		給与所得者……「収入金額」は平成23年度の市区町村発行の所得証明書の「給与収入金額」または「給与支払額」を記入してください。 給与所得者以外……「所得金額」は平成23年度の市区町村発行の所得証明書の「営業所得」「農業所得」「雑所得」等を記入してください。 平成22年度に学生であった者は、「平成23年3月」「△△学校卒業」と記入してください。	
父		年 間 収 入 (税込)		特別の事情(身体障がい者、長期療養者等に該当する者を「有」とし、別紙「特別の事情にかかる経費内訳書」により控除の申請が可能です。	
6,800 千円		保 証 人		「保証人」は奨学生本人及びその連帯保証人と同一生計(同居)でなく、成年者であって、独立の生計を営み、かつ、返還期間中にわたり返還の責めを負うことができる方にしてください。 ※やむを得ない場合を除き65歳以下の方にして	
父		氏 名 福 島 大 介		年 間 収 入 (税込)	
昭 和 〇 〇 年 〇 月 〇 日 (満 4 5 歳)		年 間 収 入 (税込)		保 証 人	
父		年 間 収 入 (税込)		保 証 人	
6,800 千円		保 証 人		保 証 人	
父		保 証 人		保 証 人	
父		保 証 人		保 証 人	

「家族」は本人と生計を一にする者全員を記入してください。

別居している者(家族の所在地と異なる者)には、×印を番号に必ずつけてください。
 なお、家計支持者が別居(単身赴任等)している場合は別紙「特別の事情にかかる経費内訳書」により経費分の控除の申請が可能です。

「年齢」は申込時現在で記入してください。

「職業」は学生の場合は「〇〇1年(専修学校の場合は〇〇課程1年)など学年まで、無職の場合は「無職」と具体的に記入してください。

「連帯保証人」は原則保護者としてください。

「年間収入」は平成23年1月～12月までの収入見込を記入してください。

併願している場合は、併願先を記入し、奨学金の種類を○で囲むこと。

入学金を除いた年間納付額を12月で割った金額。

奨学金を希望する理由

姉が東京の専門学校、弟が高等学校に在学しており、また、父の収入が減少していることなどから、少しでも家計の負担を少なくするため、奨学金を希望します。

現在受けている、又はこれから受けようとする他の奨学金の種類

有	修学のための資金の名称	奨学金の種類
○	日本学生支援機構(第二種)	貸与
○	〇〇市奨学金	貸与
○	〇〇市奨学金	給付
○	〇〇市奨学金	給付

本人の履歴

年	月	日	履
H17年	4月	〇日	〇〇市立 〇〇中学校入学
H20年	3月	〇日	〇〇市立 〇〇中学校卒業
H20年	4月	〇日	〇〇県立 〇〇高等学校入学
H23年	3月	〇日	〇〇県立 〇〇高等学校卒業
H23年	4月	〇日	私立〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科入学

事項

収入	支出	備考
家庭から	生活費	
80,000円	66,300円	
アルバイト等から	交通費	
40,000円	8,700円	
県奨学金から	学校納付金	
40,000円	80,000円	
その他	書籍・学用品	
	5,000円	
計	計	
160,000円	160,000円	

1か月当たりの平均学費(収入=支出)

以上の記載事項に相違ありません。奨学生として採用された場合は、福島奨学生としての責務をはたすこととはもとを行います。上記のとおり保証人と連署して誓約し

「収入」=「支出」としててください。

申請者 (自筆) 福島 太郎

連帯保証人 (自筆) 福島 大介

保証人 (自筆) 郡山 俊夫

年 月 日

福島県教育委員会教育長

忘れずに記入してください。

※申請者、連帯保証人、保証人の印はそれぞれ異なるものにしてください。

必ず自筆で記入し、鮮明に押印してください。

福島県奨学金貸付条例(保証人)第5条 奨学生になる者として、教育委員会が定めるところにより、保証人二人を立てなければならない。
2. 前項の保証人のうち一人は、奨学生と連帯して債務を負担するものとする。

福島県奨学生推薦調書													
氏名				在学 学校	立						部 制	科	年
出身（在学） 学校の成績	教												
	科												
	年												
	年												
	教												成績 平均値
	科												
年													
年													
推薦所見 〔学力〕 〔人物〕 〔家庭状況〕													
参考事項		（在学学校の学業成績の席次 人中 位）											
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">学校長（学長） 印</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>													
※ 判定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

在学する学校で作成してください

「出身学校の成績」の欄には、大学の場合は、記入を要しません。出身高等学校の成績証明書を添付してください。

高等専門学校の場合は、中学校における最終2カ年の全履修教科の成績を、学年、科目(教科)ごとに記入してください。

また、卒業後5年以上経過し、成績証明書が取得できない場合は、各学校において、入学試験等の成績により5段階評価に換算してください。

※2年生以上の者が申請する場合は、在学学校の成績証明書の添付も必要です。

「成績平均値」の欄は、全履修教科(科目)の評定の合計を全履修教科(科目数)で割った値(小数点第2位で四捨五入)を記入してください。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

大学・学校名の記入をお願いします。

職印を忘れずに押印してください。

福島県奨学生推薦調書									
氏名	福島太郎	在学学校	私立	〇〇〇〇	大学	〇〇部	〇〇科	1年	
出身(在学)学校の成績	教科								
	年								
推薦所見 (学力、人物、家庭状況)	教科								成績平均値
	年								4.4
参考事項	(在学学校の学業成績の席次 人中 位) 上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。 平成23年 〇月 〇日 〇〇〇〇大学 学校長(学長) 〇 〇 〇 〇 福島県教育委員会教育長								
※判定	印								

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身(在学)学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

特別の事情にかかる経費内訳

平成 年 月 日

福島県教育委員会教育長

申請者 _____

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

〔該当項目〕 ※該当する項目の番号に○をつけてください。

- 1 身体障がい者がいる。 (該当者 分)
- 2 長期療養者がいる。 (該当者 分)
- 3 家計支持者が別居している。
- 4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。

(単位:円)

年・月						月計
平成22年	1月					
	2月					
	3月					
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
	9月					
	10月					
	11月					
	12月					
領収書計						
年間推算額						

- (注1)「身体障がい者がいる場合」：障がい者手帳のコピーを添付してください。
- (注2)「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(6ヶ月以上療養費)」を添付し、年間所要見込額を推算してください。
※「身体障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。
- (注3)「家計支持者が別居している場合」：表中上段に、家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。
- (注4)「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。
- (注5) 証明書類の添付がない場合は控除の対象になりません。